

氏名(本籍)	鈴木 克実 (東京都)		
学位の種類	博士 (学術)		
学位記番号	甲第 415 号		
学位授与年月日	令和 6 年 3 月 18 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	TV Programming Strategy to Provide Private Local TV Stations an Advantage over Long-Term Competition: From a Qualitative Research of Regional Organizational Learning by the Prefectural Independent Bureau (長期的競争優位実現のための民間地方テレビ局の編成戦略～県域独立局の組織的な地域学習の質的研究調査から～)		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	上村 浩
	高知工科大学	教授	那須 清吾
	高知工科大学	教授	土屋 哲
	高知工科大学	講師	金 東勲
	高知工科大学	特任教授	須賀 仁嗣

## 審査結果の要旨

### 1. 論文の評価

本論文は、「民間地方テレビ局(地方独立局)」の持続的競争優位の獲得プロセスを明らかにすることを目的としている。代替品(特に代替メディア)からの脅威がますます強まり、その意味から競争が激化している地方独立局において、「組織的慣性を打破し進化することは可能であるか」、という本質的な問題意識に基づいて、特に「番組編成」に焦点をあてこれを明らかにするものである。

具体的には、3つの地方独立局について、Cottle(2003)のマッピング分類に準拠して、「マクロレベル(ヒアリング調査および現地視察調査)」、「メゾレベル(街頭アンケート調査)」、および「ミクロレベル(インタビュー調査および質問調査紙)」のそれぞれの階層についてサーベイ調査(質的研究)を行なっている。

これらの調査により、持続的競争優位の獲得を可能とする「番組編成」について、「イノベーションと組織学習の理論」具体的には「知識創造モデル(SECIモデル)」、「組織の知の変化理論」および「シェアード・メンタル・モデル」によって、そのプロセスを一般化モデルとして提示した。これは本論文の貢献であり、評価できるものである。

一方で、相対比較による議論、すなわち持続的競争優位の獲得に失敗した事例との比較考察が十分ではない、また量的エビデンスがやや不足しているなどの指摘もあった。しかしながら、競争優位を獲得する「番組」というアウトカムを複数提示しながら(地域資源を起点とした番組や社会問題を起点とした番組など)、これらの編成プロセスを一般化した点は高く評価されるものであり、上記の点を考慮してもなお本論文は学位論文として認められるものとする。

### 2. 審査の経過と結果

- (1) 令和 6 年 1 月 10 日 5名の審査委員のもと協議され、博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定した。
- (2) 令和 5 年 2 月 14 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和 6 年 2 月 28 日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。